

春播きトウモロコシ P2105、TX1277 および SH2821 の熊本県における品種特性

「パイヤ 123 日 (P2105)」、「ロイヤルデント TX1277 (TX1277)」、「スーデント 125T (SH2821)」は収量性および耐倒伏性に優れ、熊本県における春播きトウモロコシの品種として有望である。

農業研究センター畜産研究所飼料研究室 (担当者: 北浦日出世)

研究のねらい

販売中、若しくは数年以内に市販される飼料用トウモロコシ新品種を、県奨励品種（「ゴールドデント KD731 (KD731)」）と比較し、特性を明らかにすることにより、優良な能力を有する新品種の速やかな普及を図る。

研究の成果

1. 4月上旬に播種した場合、P2105、TX1277 および SH2821 の播種から収穫適期までの日数は平均 117.3 日で 8月上旬に収穫できる (表 1)。
2. P2105、TX1277 および SH2821 は、比較品種と同程度の耐倒伏性と病害虫への抵抗性が期待できる (表 2)。
3. P2105、TX1277 および SH2821 は、それぞれ比較品種と同等の乾物収量が期待でき、本県における飼料用トウモロコシ品種として有望である (表 3、図 1)。

※比較品種：過去3年間の試験データに基づき、熊本県で奨励品種に指定されている品種

成果の活用面・留意点

1. 生育状況および収量については気象・土壌環境の変化による影響を受けるため、施肥管理や適正な時期における播種を徹底すること。
2. 令和3年5月14日にツマジロクサヨトウが発生したため、パダン SG を5月14日および5月21日に散布した。

【具体的データ】 No. 1028 (令和5年(2023年)6月) 分類コード01-11 熊本県農林水産部

表1 生育特性に関する結果

品種	商品名	相対熟度	播種から収穫適期までの日数	初期生育	稈長 cm	着子穂高 cm	着子穂高/稈長 %
P2105	パイオニア123日	123	117.3	6.4	269.0	126.0 ^A	46.9 ^A
TX1277	ロイヤルデントTX1277	124	117.3	6.0	288.1	138.7	48.2
SH2821	スノーデント125T	125	117.3	5.4	282.1	141.1	50.1
KD731	ゴールドデントKD731 比較	123	118.7	5.6	275.8	139.3 ^B	50.5 ^B

- 1) 数値は調査年の平均
- 2) 播種期は令和2年4月3日、令和3年4月2日、令和4年4月4日。
- 3) 1区は12㎡とし、3反復で実施した。
- 4) 施肥量は、たい肥300kg/a、N:1.5kg/a、P₂O₅:1.5kg/a、K₂O:1.5kg/a。
- 5) 収量調査は、絹糸抽出期から38日目を基準とした。
- 6) 異符号間で有意差あり (A-B:p<0.01, T-test)

表2 倒伏性、病害抵抗性に関する調査結果

品種	商品名	倒伏 %	折損 %	虫害 %	根腐病 %	南方サビ病 %	紋枯病 %
P2105	パイオニア123日	0.0	0.0	0.3	0.0	1.9	65.7 ^a
TX1277	ロイヤルデントTX1277	0.0	0.0	0.8	1.7	0.8	61.9 ^a
SH2821	スノーデント125T	0.1	0.0	0.4	0.6	1.1	40.9
KD731	ゴールドデントKD731 比較	0.3	0.0	0.7	2.1	0.7	41.0 ^b

- 1) 数値は調査年の平均
- 2) 虫害はアワヨトウ、アワノメイガ、ツマジロクサヨトウによる倒伏・折損
- 3) 試験ほ場は、連作により紋枯病が発生している。
- 4) 異符号間で有意差あり (a-b:p<0.05, T-test)

表3 収量性に関する調査結果

品種	商品名	乾物茎葉収量 kg/a	乾物雌穂収量 kg/a	総乾物収量 kg/a	総乾物率 %
P2105	パイオニア123日	86.4 ^A	111.3	197.7	31.4
TX1277	ロイヤルデントTX1277	100.7	95.8	196.5	27.3
SH2821	スノーデント125T	94.9	99.0	193.9	26.8
KD731	ゴールドデントKD731 比較	109.4 ^B	90.3	199.7	28.4

- 1) 数値は調査年の平均
- 2) 異符号間で有意差あり (A-B:p<0.01, T-test)

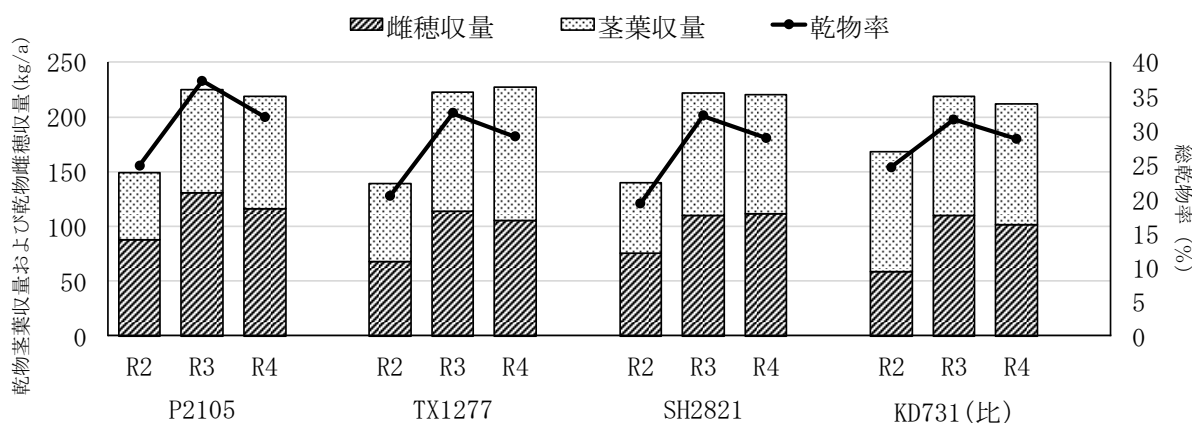


図1 品種ごとの3か年の乾物茎葉収量、乾物雌穂収量および乾物率